

ピアチェンツァ、Piacenza

ミラノの南東70キロ程、ポー川を渡ったすぐ先にピアチェンツァはあります。ポー川の最内陸港として、クレモナとともに紀元前に出来た古い街です。ピアチェンツァはミラノから約40分の位置にありますが、ロンバルディア州ではなく、パルマと同じエミリア・ロマーニャ州に属します。12、13世紀頃には金融業で栄えた都市で、ピアチェンツァの商人と銀行家はヨーロッパを制していた時期もありました。16世紀にパルマ・ピアチェンツァ公国としてファルネーゼ公爵家の支配下となつてからは、パルマと一緒に18世紀はフランスブルボン家、19世紀はオーストリアの支配を経て、イタリアに加わります。また、有名なジョルジョ・アルマーニの出身地でもあります。

街を代表する建造物であるイル・ゴティコ宮殿、ドゥオモ、サン・フランチェスコ教会、サン・アントニオ教会等は12、13世紀に建てられています。イル・ゴティコ宮殿はその名前の通りロンバルディア・ゴシック（ゴティコ）の傑作と言われるだけのことはあります。下半分が大理石で上部がレンガ構造となっていて、この建物がこの街の象徴となっています。ピアチェンツァの駅もこの建物に似せて、下半分が大理石となっていました。この宮殿の前には2体の騎馬像が立っているため、この広場はカヴァッリ（馬）広場と呼ばれます。このカヴァッリ広場とドゥオモ広場は9月20日通りで結ばれています。ここは、ショッピング街で、ピアチェンツァで一番の賑やかな通りです。

とにかく、旧市街全体が古く、壊れそうな建物があちこちにあります。実際に、かなりの建物が修復中でした。新しい建物は、駅前に高層ビルが一つ建っているだけですが、何となく、この高層ビルは、この街にマッチしていません。

写真：





ピアチェンツァには、ロゴレド駅から列車で40分、料金は5.1ユーロです。10時台を除き、1時間に1本あります。帰りは、午後2時台と4時台以外、1時間に1本あります。観光の見所は限られていますので3時間もあれば十分です。従って、朝ゆっくり出発して、ふらっと行けば良いと思います。駅を出て、公園がありますので公園の中を抜けると、もう、旧市街です。街が古いせいか、暗い感じで華やかさにかける街です。人口も少ないのかもしれませんが。教会の内部が印象的でした。フレスコ画の教会とステンドグラスの教会があります。どちらもステキでした。ドゥオモはミサの最中でしたので、ミサに加わって写真を撮ってきました。イル・ゴティコは1回見れば十分です。ファルネーゼ宮殿に市立博物館があり、ここは見ごたえがあります。特に、ポッティチェリの円形絵画とマドンニーナの古い絵画のコレクションは必見です。また、ピアチェンツァの肝臓と呼ばれるローマ時代以前の青銅の彫刻が地下室にあります。但し、全館写真撮影禁止の上に、ガイドさんがついて回りますので、写真は全く取れませんでした。ガイドさんは英語が出来ないので意味がありませんでしたが、親切な田舎のおばちゃんでした。でも、写真だけは、何度たのんでも駄目でした。